


報道関係各位

記者会見のご案内

2012年5月吉日

 日本慢性腎臓病対策協議会
J-CKDI
〒113-0033
東京都文京区本郷 3-28-8 日内会館 2F
日本慢性腎臓病対策協議会事務局
(日本腎臓学会内) <http://j-ckdi.jp/>

日本慢性腎臓病対策協議会(J-CKDI)

CKD 診療のエッセンスと CKD の重症度分類に関する記者会見のお知らせ

～2012年6月1日(金) 会場:パシフィコ横浜会議センター 4F 419号室～

日本慢性腎臓病対策協議会(事務局:東京都文京区、理事長:榎野博史、以下 J-CKDI)は、来る2012年6月1日(金)発行の「CKD 診療ガイド2012」に関する記者会見を行います。

CKD 診断基準および GFR に基づいた重症度分類が発表されてから、10年が経過しました。わが国には CKD 患者が1330万人おり、成人の8人に1人が CKD 患者です。CKD は透析導入の原因であるだけでなく、心筋梗塞、脳卒中のリスクであることが知られています。CKD の脅威ならびにその多大な医療費は医学界だけでなく、社会的にも大きな問題であります。

2012年に国際腎臓病予後改善委員会(KDIGO)が中心となって、10年ぶりに CKD 診療を再評価し、重症度分類を改訂しました。この改定に合わせて、日本の CKD 診療ガイドを発行致します。記者会見では、新しい「CKD 診療ガイド2012」の概要について説明します。新し CKD 診療ガイドでは原疾患名を記載し、全ての患者において尿蛋白と GFR を評価します。また、CKD 患者の血圧管理法が変わります。これまでの尿蛋白 1g/日以上で125/75mmHg 未満という基準は撤廃され、全て 130/80mmHg 以下に統一されます。また、CKD の第一選択薬は ACE 阻害薬、ARB だけでしたが、尿蛋白がない、非糖尿病患者で第一選択薬はなく、患者の状態に合わせて治療するように改定されました。また、CKD 患者の貧血に対する管理基準も変わります。

今回、以下の内容について発表させて頂きたく、下記のとおり記者会見を行います。

- ①CKD 診療ガイドの概要
- ②CKD 患者の紹介基準
- ③CKD 患者のフォローアップ基準
- ④血圧に関する新しい基準
- ⑤貧血に関する新しい基準

ご多用の折とは存じますが、是非ご出席賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

-記-

1. 日時: 2012年6月1日(金)10:00～11:00 (受付開始 9:30)
2. 会場: パシフィコ横浜会議センター 4F 419号室
3. 登壇者: 榎野博史 秋澤忠男 本田雅敬 今井圓裕 安田宜成
4. 当日の予定: 1 榎野博史理事長挨拶
2 秋澤忠男副理事長挨拶
3 本田雅敬副理事長挨拶
4 CKD 診療ガイド改訂委員長 今井圓裕による CKD 診療ガイド2012に関する解説
5 質疑応答
- 5 主催: 日本慢性腎臓病対策協議会(J-CKDI)、日本腎臓学会、

以上